

国の指針を踏まえた尼崎市の段階的な個別避難計画作成の考え方(案)の整理について

① 国の指針における個別避難計画の作成の考え方について

今年5月に災害対策基本法が改正され、避難行動要支援者の個別避難計画の作成が市町村の努力義務とされました。国は、この改正法をふまえて同月に「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」を改定し、市町村の限られた体制の中で、できるだけ早期に避難行動要支援者全体に計画が作成されるよう、次の考え方にに基づき、市町村で個別避難計画の作成を推進することが適当との考えを示されました。

A 市町村が避難支援等関係者※1と連携して作成する個別避難計画

市町村で優先度が高いと判断した方について、地域の実情を踏まえ、おおむね5年程度で個別避難計画の作成に取組むこと

B 本人・地域記入の個別避難計画

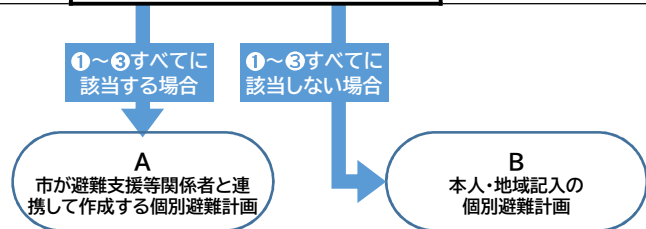
Aの計画づくりと並行し、本人又は、本人の状況によっては、家族や地域の自主防災組織等が記入する計画づくりを進めること

上記の国の方針を踏まえるとともに、今年度、市内5地区において進めている個別避難計画の試行的な作成を通じて、効率・効果的な計画作成手順を構築することで、本市における個別避難計画の段階的な作成対象者の考え方を整理したいと考えています。

※1 避難支援等関係者とは、福祉専門職、社会福祉協議会、民生児童委員、自治会等を想定しています。

【 国の指針における優先度のポイント(例) 】

項目	国の指針における優先度のポイント(例)	国の優先度のポイント(例)に対応した各項目の尼崎市の状況について
① 居住実態及び社会的孤立の状況	<ul style="list-style-type: none"> 単身世帯 夫婦二人暮らし 支援者が側にいないなど 	
② 心身の状況(本人の心身状況、情報取得や判断への支援が必要な状況)	<ul style="list-style-type: none"> 要介護認定3～5の認定者 身体障害者手帳1・2級の手帳所持者 重度以上と判定された知的障害者 その他自ら避難することが困難な方 	<ul style="list-style-type: none"> 要介護認定3～5の認定者 身体障害者手帳1・2級の手帳所持者 療育手帳Aの手帳所持者 精神障害者保健福祉手帳1級等
③ ハザード状況(お住まいの地域の災害発生の危険性)	<ul style="list-style-type: none"> 浸水想定区域 津波浸水想定 津波災害警戒区域 津波災害特別警戒区域等 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水想定区域 津波浸水想定 津波災害警戒区域(該当なし) 津波災害特別警戒区域等(該当なし)



② 尼崎市の避難行動要支援者の状況について

本市における段階的な個別避難計画作成の考え方を検討する上で、尼崎市の避難行動要支援者がどのような状況に置かれているかを把握する必要があるため、国の指針における優先度のポイント(例)を参考に、次のとおり避難行動要支援者の状況について分類を行いました。

(1) 心身の状況及び世帯類型等別の避難行動要支援者の分類

	単身世帯	高齢者世帯	その他同居世帯	合計	備考
避難行動要支援者	49,244	48,078	6,873	104,195	
避難支援への同意者	19,997	18,589	2,213	40,779	
在宅	19,011	18,471	2,203	39,685	
国の指針の対象者のポイント	3,159	1,986	1,621	6,766	→ハザード分析
① 要介護3～5	1,743	985	190	2,918	身体障害者2級以上
② 身体障害者2級以上	1,322	989	1,010	3,321	
③ 療育手帳A	71	5	403	479	
④ 精神障害者1級	23	7	18	48	
その他(①～④以外)	15,852	16,485	582	32,919	
入所	986	98	10	1,094	特養・有料老人ホーム・サービス付高齢者住宅・GH
不同意者等				5,018	

※ ①～④の順で対象者を分類

(2) 国の指針のポイント(例)に該当する避難行動要支援者の災害リスクごとの分類

	単身世帯	高齢者世帯	その他同居世帯
国指針の対象者のポイント例(重度障害者等)に該当する対象者数	3,159	1,986	1,621
(1) 災害ごとの浸水想定区域(1m以上)に居住する避難行動要支援者数			
① 洪水浸水想定区域(武庫川)	1,846	1,164	937
② 洪水浸水想定区域(猪名川・深川)	1,390	795	673
③ 津波浸水想定区域	268	124	112
④ ①+②(すべての洪水想定区域)	2,665	2,083	1,370
⑤ ①+②+③(すべての浸水想定区域)	2,670	2,085	1,373
(2) 各災害想定区域(1m以上)が重なる等で、リスクがより高い区域に居住する避難行動要支援者数			
⑥ ①②のエリアが重なる区域(洪水のリスクがより高い区域)	571	289	240
⑦ ①②③のエリアが重なる区域(洪水及び津波のリスクがより高い区域)	263	122	109
⑧ ③+⑥(洪水のリスクが高く、津波のリスクもある区域)	576	291	243
(3) 浸水想定が1m未満の区域に居住する避難行動要支援者数	489	314	248

合計494人

③ 主な整理事項

(1) 市が主体的に避難支援等関係者と連携して作成する個別避難計画の対象者の検討

国の指針の考え方等をもとに、「② 尼崎市の避難行動要支援者の状況について」の中から、おおむね5年程度を目途に、「A 市町村が避難支援等関係者と連携して作成する個別避難計画」の対象者を検討していく必要があります。

(2) 本人・地域記入の個別避難計画の作成に向けた手法の検討

「B 本人・地域記入の個別避難計画」の対象者に対して、どのように個別避難計画の作成を促していくかを検討していく必要があります。

尼崎市 個別避難計画

■災害への備えと個人情報使用の同意について

作成日 令和5年3月1日

災害発生時に避難支援等関係者と安全に避難できるよう、平常時においても私に関する情報を避難支援等関係者と共有することに同意します。

フリガナ (自署)	アマガサキタロウ	性別	男	生年月日	1935年1月1日	電話番号	06-1234-5678
氏名	尼崎 太郎						

ご本人が署名できない場合は、次の項目もご記入ください。

代理人氏名	尼崎 花子	本人との関係	子	代理人連絡先	070-1234-5678	
住所	尼崎市東七松町1丁目23-1 あまがさきマンション北301号室		家族構成	■ひとり暮らし □同居家族あり (人)		
障害者手帳	■身体障害者手帳 2級 (下肢) □療育手帳 () ■精神障害者保健福祉手帳 2級 (○○症)					
要介護認定	(要介護) 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 (要支援) 1 ・ 2					
疾病等	人工呼吸器 ・ 人工透析 ・ 難病 疾病名 (○○病)					
緊急連絡先 (家族等)	氏名	尼崎 花子	続柄	長女	連絡先	070-1234-5678 備考 市外在住
	氏名	尼崎 咲子	続柄	次女	連絡先	090-1234-5678 備考 市外在住
	氏名		続柄		連絡先	備考
医療機関	名称	○○クリニック	連絡先	06-2345-6789	疾患等	高血圧
	名称	△△病院	連絡先	06-3456-7891	疾患等	喘息
介護・障害事業所	名称	デイサービス △△ (毎週○曜日～○曜日、○時～○時)			連絡先	06-4567-8912
	名称	デイサービス △△ (毎週○曜日～○曜日、○時～○時)			連絡先	06-4567-8913
	名称				連絡先	

■住まいに起こりうる災害は…ハザードマップで確認

<input checked="" type="checkbox"/> 洪水	浸水想定区域内・区域外	浸水	m	河川名 (川)
<input checked="" type="checkbox"/> 高潮	浸水想定区域内・区域外	浸水	2 m	<input checked="" type="checkbox"/> 津波 浸水想定区域内・区域外 浸水 2 m

■災害情報をどう確認しますか

<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話・スマホ (<input checked="" type="checkbox"/> 尼崎市防災ネット <input type="checkbox"/> SNS <input checked="" type="checkbox"/> インターネット)
<input checked="" type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> その他 ()

■どこに避難しますか (避難先等)

<input checked="" type="checkbox"/> 自宅避難 ※自宅が安全が確保できる場合	
<input type="checkbox"/> 自宅以外での避難先	■距離 ■手段 ■移動時間
・ 親戚宅 / お知り合い避難 (連絡先:)	m 分
・ 緊急一時避難場所 (○○マンション)	m 分
・ 指定避難場所 (○○小学校)	300 m 車いす 7 分

■ペットを飼っている場合の避難について

■避難準備にかかる時間は ②

種別 (犬) → <input type="checkbox"/> 一緒に避難する <input type="checkbox"/> 知人等に預ける	<input type="checkbox"/> 家族や支援者への連絡	15 分
	<input type="checkbox"/> 持ち出し品の準備	10 分
	<input type="checkbox"/> 家の戸締まり	5 分
警戒レベル (3 高齢者等避難) が発令されたら避難行動を開始	【避難にかかる時間】 → ①+② 計	37 分

■避難に必要な備え

<input checked="" type="checkbox"/> 服用薬 (○○○○、●●●●、△△△△、▲▲▲▲、□□□□ 場所: 冷蔵庫内のヘルプキット)
<input checked="" type="checkbox"/> お薬手帳 <input checked="" type="checkbox"/> 入れ歯 <input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 非常食 () 日分 <input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> あまやくポケット <input type="checkbox"/> 体温計 <input checked="" type="checkbox"/> 保険証 <input type="checkbox"/> 飲料水 () 日分 <input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> ヘルプキット <input checked="" type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 懐中電灯 (電池も) <input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話・スマホ (充電器も) <input checked="" type="checkbox"/> メガネ <input checked="" type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/>

※支援はあくまで日頃の近隣との交流 (地域コミュニケーション) に基づき、善意により行われるものであり、支援者は自分の安全、家族の安全を確保することが最優先されるもので、災害発生時において支援ができなくても、責任を負うものではありません。

■支援について

福祉協会長 (町会・自治会)	福祉 太郎 (06-5678-9123)	民生児童委員	防災 次郎 (06-6789-1234)	
避難支援者 又は団体 (町会・自治会・当事者団体等)	氏名	減災 三郎	連絡先	080-2345-6789 備考 近隣
	氏名		連絡先	備考
	団体名	尼崎市防災福祉○○会	備考	連絡先: 06-7891-2345 住所: 尼崎市東七松町1丁目5-20

■必要な支援について

避難時	歩行は可能だが、下肢障害があるため迅速な移動は困難である。普段は車いすを使用している。また、高齢のため、補聴器を使用しており、大きな声ではっきりと伝えることが必要である。
避難所生活	他人との接触が苦手であり、混雑した環境ではパニックになる可能性が高い。できるだけ個室環境を用意するか、または、パーテーションで区切られた空間での避難所生活が望ましい。小麦のアレルギーがあるため、配慮が必要。小麦の代わりに米粉を使用したパン、麺類なら食べられる。
自由記述欄	○○小学校前の道路が狭く、避難者で混雑する可能性がある。混乱しないよう、ゆっくり誘導する必要がある。

■避難所への経路

